



マイクロプラスチックによる海洋汚染

講座関連図書リスト

海洋汚染問題を知る

1 『プラスチックスープの海 北太平洋巨大ごみベルトは警告する』

チャールズ・モア、カッサンドラ・フィリップス／著

NHK出版 2012.8 ISBN: 978-4-14-081560-1

日本列島の約 10 倍の巨大なごみの渦。プラスチック普及の歴史から、その毒性、生分解性樹脂の開発まで、海洋ごみ第一人者が調査船での冒険談を交えて解明します。

2 『プラスチックの海 おびやかされる海の生きものたち』

佐尾和子／[ほか]編 海洋工学研究所 1995.4 ISBN: 4-906549-00-4

プラスチックによる海洋汚染の状況や、汚染問題に対するさまざまな取組を行う研究者や機関による報告から、プラスチック汚染について考えていきます。

3 『海ゴミ 拡大する地球環境汚染』（中公新書）

小島あずさ、眞淳平／著 中央公論新社 2007.7 ISBN: 978-4-12-101906-6

日本中の海岸におしよせる大量の漂着ゴミ。それらのゴミはなぜ発生し、どこから来るのか。私たちの生活や生態系にどのような影響があるのか。知られざる環境汚染の実態に迫ります。

4 『食べもの通信 2018 年 11 月号』

特集「世界の海を汚すマイクロプラスチック」 食べもの通信社

マイクロプラスチックの海洋汚染の現況や、世界で進むプラスチック問題への対策や、個人で取り組むことができるごみ削減の工夫を紹介しています。

5 『NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版 2018 年 6 月号』

特集「海を脅かすプラスチック」 日経ナショナルジオグラフィック社

世界中で今も増え続けているプラスチックの生産や深刻な社会問題ともなっている世界のゴミの状況を、多数の写真と共に紹介しています。

海について理解を深める

6 『海の教科書 波の不思議から海洋大循環まで』（ブルーボックス）

柏野祐二／著 講談社 2016.6 ISBN : 978-4-06-257974-2

身近なのに意外と知らない海を、最新科学で徹底解説。目に見える海の現象から、目に見えない地球規模の活動まで、海をまるごと解説する海洋学の入門書です。

7 『海の温暖化 変わりゆく海と人間活動の影響』

日本海洋学会／編集 朝倉書店 2017.7 ISBN : 978-4-254-16130-4

海の温暖化が水産業や市民生活に与える影響や問題から、海洋酸性化やマイクロプラスチックなどさまざまな海洋環境問題について幅広く伝えます。

8 『海洋学』

ポール・R. ピネ／著 東海大学出版会 2010.3 ISBN : 978-4-486-01766-0

海洋学の歴史から海洋の構造、海水の特性、生態系や海洋資源等について、ビジュアルにわかりやすく紹介しています。

プラスチック、化学物質について理解を深める

9 『初歩のプラスチック はじめてプラスチックを学ぶ人のために』

飯田惇／著 全日本プラスチック製品工業連合会／監修

三光出版社 2014.10 ISBN : 978-4-87918-097-1

プラスチックについて、歴史から性質、加工法、関連産業等の基礎を知るための入門書です。

10 『えっ！ そうなの？！ 私たちを包み込む化学物質』

浦野紘平、浦野真弥／共著 コロナ社 2018.1 ISBN : 978-4-339-06643-2

身近に存在するさまざまな化学物質について、基礎知識からプラス面とマイナス面を解説し、化学物質が人や生態系に与える影響をまとめています。

11 『環境汚染化学 有機汚染物質の動態から探る』

水川薫子、高田秀重／著 丸善出版 2015.9 ISBN : 978-4-621-08968-2

化学物質による環境汚染の現状と汚染物質の法則を理解し、これからの環境汚染対策を考えるための1冊です。

いずれの図書も横浜市立図書館で所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。

中央図書館では、みなさまの調査研究・問題解決のお手伝いをしています。

お気軽に各階カウンター・電話・ホームページの申込みフォームにて、お問い合わせください。

電話 : 045(262)0050

Web : <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chosa/referance.html>

横浜市中央図書館 調査資料課